

Ranorex v9

リモート環境でのテスト実行

本資料では、リモート環境でテストを実行する方法をご紹介します。

1. ファイルコピーによる方法

- Ranorex Studioがインストールされている場合
- Ranorex Studioがインストールされていない場合

2. Ranorex Agentを使用する方法

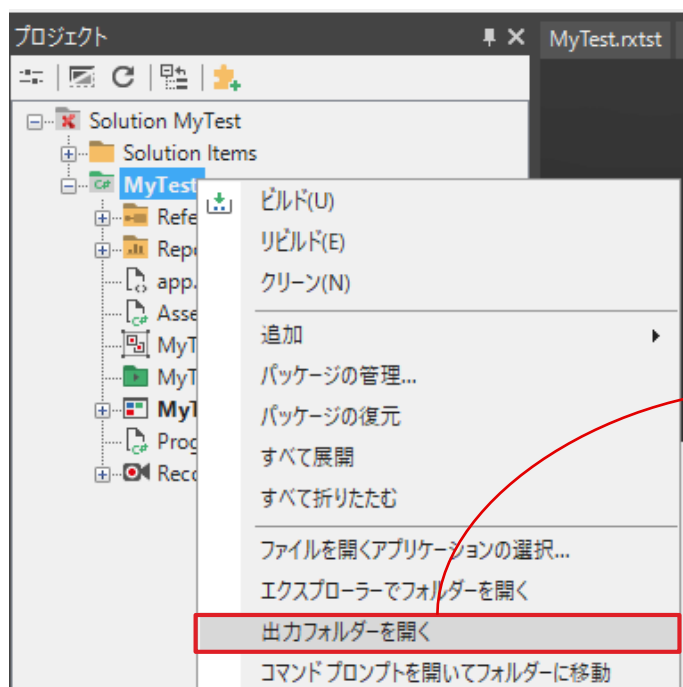
※本資料は、Ranorex v9.1.2（国内リリース版）を使用し、作成しています。

※本資料では、Ranorex Studio を使用してテストを作成する環境を“テスト作成環境”
作成したテストシナリオを実行する環境を“リモート環境”として記載します。

1. ファイルコピーによる方法

Ranorex Studioがインストールされている場合

リモート環境に、Ranorex Studioが完全にインストールされている場合には、各プロジェクトの bin¥Debugフォルダー（出力フォルダー）をコピーします。



「ドキュメント」 > Ranorex > RanorexStudio Projects > MyTest > MyTest > bin > Debug			
名前	更新日時	種類	サイズ
ja	2019/12/13 9:56	ファイル フォルダー	
MyTest.exe	2019/12/13 9:56	アプリケーション	7 KB
MyTest.exe.config	2019/12/13 9:52	CONFIG ファイル	1 KB
MyTest.pdb	2019/12/13 9:56	プログラム デバッグ デ...	22 KB
MyTest.rxtmg	2019/12/13 9:52	Ranorex Test Suite	1 KB
MyTest.rxtst	2019/12/13 9:52	Ranorex Test Suite	3 KB
MyTest.xml	2019/12/13 9:56	XML ドキュメント	4 KB
Ranorex.Core.Resolver.dll	2019/09/11 14:50	アプリケーション拡張	226 KB
Ranorex.rxsettings	2019/12/13 9:52	RXSETTINGS ファイル	24 KB

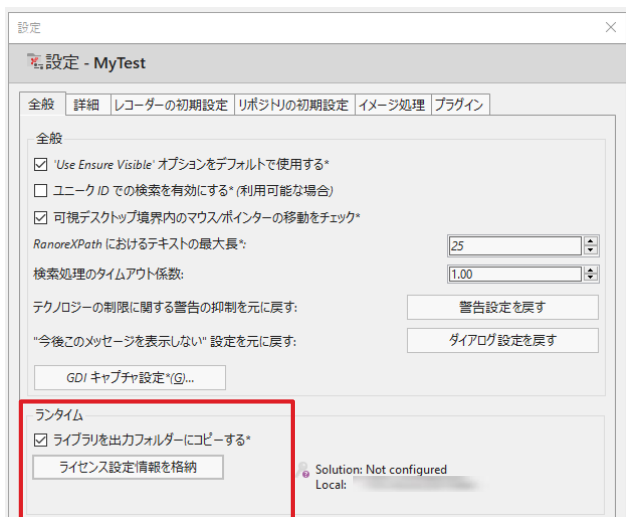
テストを実行する場合には、リモート環境上で、テスト実行モジュール（exe）を実行します。

1. ファイルコピーによる方法

Ranorex Studioがインストールされていない場合

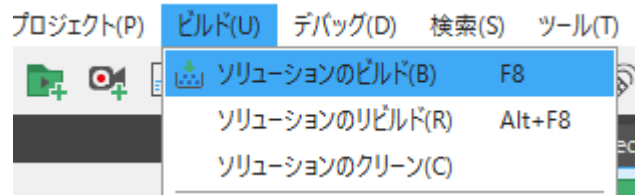
リモート環境に、Ranorex Studioがインストールされていない場合には、Ranorex ランタイムライブラリ、およびライセンス設定情報が必要になります。この方法は、必要最小限のファイルのみを配置した状態でテストを実行したい場合に役立ちます。

1. Ranorex Studioにて、対象のソリューションを開きます。
2. **設定 > 全般** タブを開き、**ランタイム** の設定を行います。
 - ・ **ライブラリ出力フォルダーにコピーする** のチェックボックスを **有効** とします。
→Ranorexの動作に必要なライブラリー式をプロジェクトフォルダー配下にコピーします。
 - ・ **ライセンス設定情報を格納** を **有効** とします。
→ランタイムライセンスファイルの生成を行います。



1. ファイルコピーによる方法

3. 設定の上、ソリューションのビルドを行います。



4. プロジェクトの出力フォルダー（bin¥Debugフォルダー）配下に、
Ranorex ランタイムライブラリ（Runtimeフォルダー） および
ライセンス設定情報（RanorexLicenseManager.lic） がまとめて出力されます。

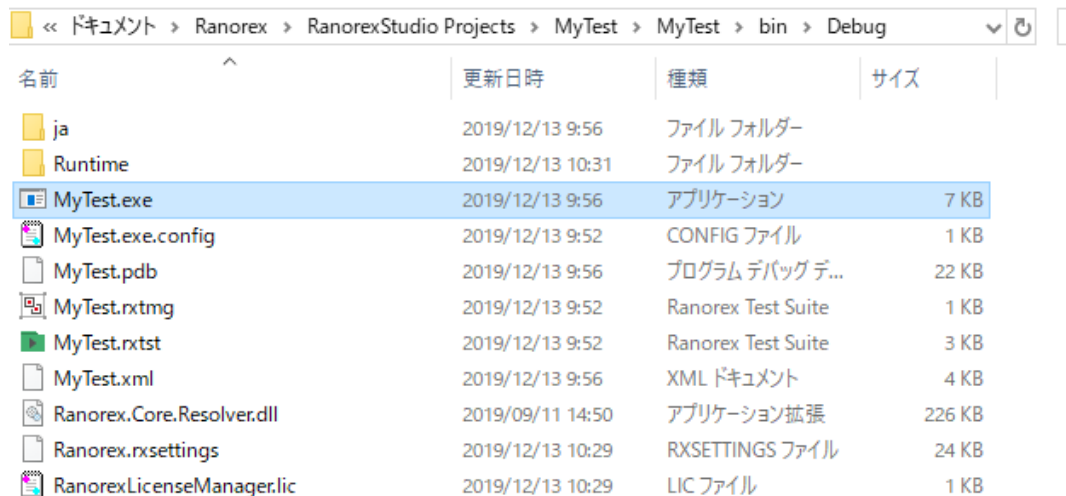
「ドキュメント」 > Ranorex > RanorexStudio Projects > MyTest > MyTest > bin > Debug				
名前	更新日時	種類	サイズ	
ja	2019/12/13 9:56	ファイル フォルダー		
Runtime	2019/12/13 10:31	ファイル フォルダー		
MyTest.exe	2019/12/13 9:56	アプリケーション	7 KB	
MyTest.exe.config	2019/12/13 9:52	CONFIG ファイル	1 KB	
MyTest.pdb	2019/12/13 9:56	プログラム デバッグデ...	22 KB	
MyTest.rxtmg	2019/12/13 9:52	Ranorex Test Suite	1 KB	
MyTest.rxtst	2019/12/13 9:52	Ranorex Test Suite	3 KB	
MyTest.xml	2019/12/13 9:56	XML ドキュメント	4 KB	
Ranorex.Core.Resolver.dll	2019/09/11 14:50	アプリケーション拡張	226 KB	
Ranorex.rxsettings	2019/12/13 10:29	RXSETTINGS ファイル	24 KB	
RanorexLicenseManager.lic	2019/12/13 10:29	LIC ファイル	1 KB	

ランタイムライブラリ

ライセンス設定情報ファイル

1. ファイルコピーによる方法

5. 必要なファイル一式（bin¥Debugフォルダ）をテスト実行用マシンにコピーし、テスト実行モジュール（exe）を実行することで、リモート環境上で、テストの実行が行えます。



<< ドキュメント > Ranorex > RanorexStudio Projects > MyTest > MyTest > bin > Debug				
名前	更新日時	種類	サイズ	
ja	2019/12/13 9:56	ファイル フォルダー		
Runtime	2019/12/13 10:31	ファイル フォルダー		
MyTest.exe	2019/12/13 9:56	アプリケーション	7 KB	
MyTest.exe.config	2019/12/13 9:52	CONFIG ファイル	1 KB	
MyTest.pdb	2019/12/13 9:56	プログラム デバッグ デ...	22 KB	
MyTest.rxtmg	2019/12/13 9:52	Ranorex Test Suite	1 KB	
MyTest.rxtst	2019/12/13 9:52	Ranorex Test Suite	3 KB	
MyTest.xml	2019/12/13 9:56	XML ドキュメント	4 KB	
Ranorex.Core.Resolver.dll	2019/09/11 14:50	アプリケーション拡張	226 KB	
Ranorex.rxsettings	2019/12/13 10:29	RXSETTINGS ファイル	24 KB	
RanorexLicenseManager.lic	2019/12/13 10:29	LIC ファイル	1 KB	

また、必要なファイル一式（bin¥Debugフォルダ）をUSBデバイス上にコピーし、USBデバイス上に配置したテスト実行モジュール（exe）を実行することでも、テストの実行を行うことができます。これにより、より本番環境に近い状態でテストを実行できます。

注意事項1.

テスト実行時には、ライセンスファイル（.lic）に設定されたRanorexのライセンスサーバーへ接続し、ライセンスを取得するため、Ranorexのライセンスサーバーとリモート環境のマシンは、ネットワーク接続が必要となります。

注意事項2.

ファイルコピーによる方法であっても、リモート環境のマシンはRanorexのシステム要件を満たしている必要があります。
システム要件：

<https://www.ranorex.com/ja/help/v9.1/ranorex-studio-system-details/system-requirements/>

2. Ranorex Agentを使用する方法

リモート環境に、Ranorex Agentというツールをインストールすることで、テストを実行することができます。
また、Ranorex Agentを使用する場合、リモート環境には、Ranorex本体（Ranorex Studioなど）のインストールは必要なく、Ranorex Agentのみをインストールすることでテストの実行が行えます。

1. Ranorex Studioにて、対象のソリューションを開きます。

2. **設定 > 全般** タブを開き、**ランタイム** の設定を行います。

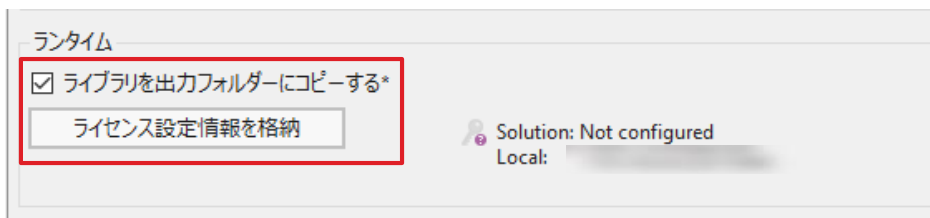
- ・ **ライブラリ出力フォルダーにコピーする** のチェックボックスを **有効** とします。

→テストを実行すると、Ranorexの動作に必要なライブラリー式がリモート環境へ自動でコピーされます。

- ・ **ライセンス設定情報を格納** を **有効** とします。

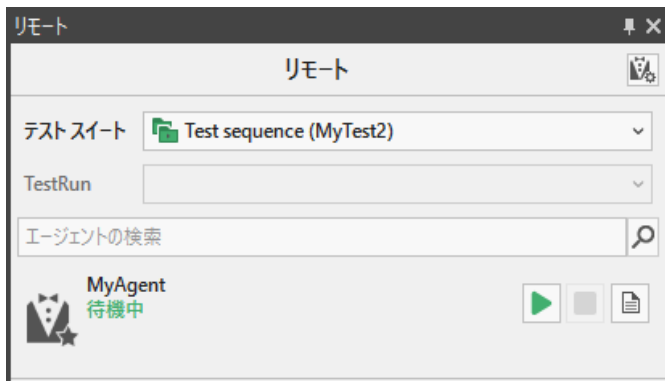
→ライセンスファイルの生成を行います。

※ テスト作成環境のRanorex Studio内で登録されたライセンスサーバーの情報が使用されます。

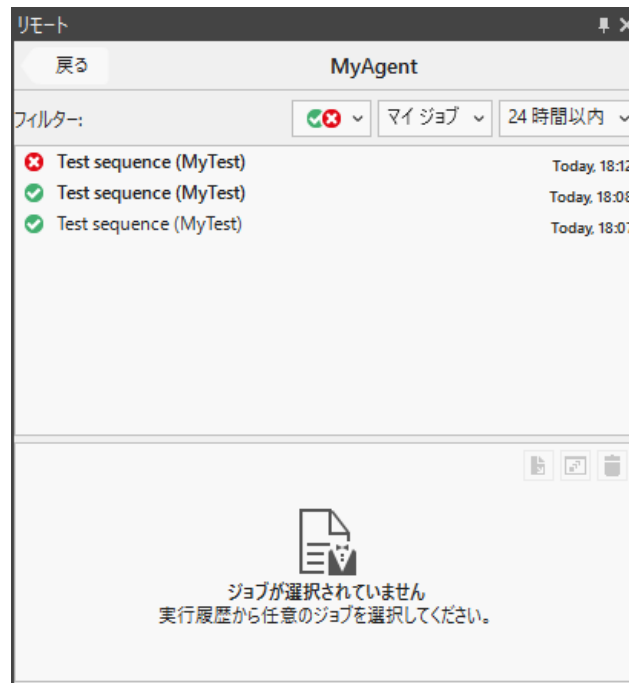


2. Ranorex Agentを使用する方法

3. テスト作成環境の エージェントの管理画面 から、リモート環境上の Ranorex Agent に対し、テストの実行を制御することができます。
テスト結果についても、テスト作成環境上からレポートの確認が行えます。



エージェント管理画面



テスト結果の確認画面

2. Ranorex Agentを使用する方法



4. Ranorex Agentを使用してテストを実行する場合、テスト作成環境の Ranorex Studio上（エージェント管理画面）を使用する方法のみではなく、コマンドライン上で任意の Ranorex Agentを指定し、テストを実行することもできます。

コマンド例：MyTest.exe /agent:[agent name]

※[agent name]として、Ranorex Agent をインストールしている“マシン名”もしくは“IPアドレス”を指定します。

コマンドラインからのテスト実行および、コマンドライン引数については、以下のユーザーガイドをご参照ください。

・コマンドライン実行

<https://www.ranorex.com/ja/help/v9.1/ranorex-studio-expert/runtime-and-remote-execution/command-line-execution/>

注意事項1.

テスト実行時には、指定したRanorexのライセンスサーバーへ接続し、ライセンスを取得するため、Ranorexのライセンスサーバーと、リモート環境のマシンは、ネットワーク接続が必要となります。

注意事項2.

リモート環境のマシンは、使用しているRanorexのバージョンのシステム要件を満たしている必要があります。
システム要件：

<https://www.ranorex.com/ja/help/v9.1/ranorex-studio-system-details/system-requirements/>

Ranorex Agentを使用したテストの実行方法については、以下のURLをご参照ください。

・Ranorex Remote

<https://www.ranorex.com/ja/help/v9.1/ranorex-studio-expert/runtime-and-remote-execution/ranorex-agents/>